

第6回 総合計画策定に係る柏崎市総合計画審議会 議事概要

- 1 日時 令和7（2025）年8月25日（月） 午後2時30分から午後4時20分まで
- 2 場所 柏崎市役所4階 4-3、4-4会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 樋口秀会長、柿崎啓子副会長、相田浩委員、飯田博委員、岡田和久委員、嶋岡和美委員、霜田直也委員、田邊幸子委員、遠山みちる委員、長谷川弘美委員、丸田秋男委員
 - (2) 庁内 総合企画部長、財務部長、市民生活部長、危機管理監、福祉保健部長、子ども未来部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道局長、教育部長、議会事務局長、消防長
 - (3) 事務局 企画政策課長、同課長代理、同企画係員

4 会議資料

【事前配布】

- ・次第
- ・資料1_審議会でもいただいた御意見への対応
- ・資料2_柏崎市第六次総合計画の素案
- ・資料3_柏崎市第六次総合計画デザイン案

【当日配布】

事前配布資料のほか、

- ・席次表
- ・配布資料の修正について

5 会議概要

(1) 開会

(2) 会長挨拶

8月ももう終わるが、連日酷暑が続いている。そんな中、仕事の関係で久しぶりに東京へ行ってきた。これまで古い飲み屋街であったところも新しいビルが立ち並び、良い意味で変わっていた。環境や社会の様々な変化により、柏崎市もどう変わっていくのか、新しい総合計画に大きく関わってくる。本日も、重要な決定事項があるが、変化にどう対応していくか、忌憚のないご意見をいただきたい。

(3) 議事

委員の発言は次のとおり

発言者	発言概要
【審議事項 審議会でもいただいた御意見への対応について	資料1】
(資料1により、事務局が主な修正箇所を説明)	
将来都市像について	
委員	: 市長の「まえがき」はパブリックコメントの内容に含まれているか。

事務局	： 「まえがき」の部分はパブリックコメントの内容に含まれていないが、資料1の囲んだ部分は、市長に直接見てもらったものだとご理解いただきたい。
委員	： 総合計画策定において分かりやすい表現で記載することを意識して進めてきたが、将来都市像の「energy」というアルファベットに「エナジー」というルビを振っているところが、個人的には一番分かりづらいと思っている。市長の「まえがき」による説明が事前に見られないのは残念である。
委員	： ルビを入れることによって、年配の方にも分かりやすくなったと思う。「energy」の意味については、この資料に記載されていることをより丁寧に説明し、「energy」に込めた思いがしっかりと市民に伝われば良いのではないかと。
委員	： 最初は違和感があったが、議論を重ね、説明やルビを加えることによって、分かりやすくなったと思う。アルファベットを使い、若い人達にアピールすることも大事だと思うので、この将来都市像で良いのではないかと。
委員	： 「energy」と読んでもらいたいという市の思いが込められていると感じた。伝わりやすさを主眼としてルビを振ったのは良いと思う。
委員	： 異論はない。イチローが殿堂入りした際の挨拶で、「エナジー」という言葉を使っていた。奥様のバックアップを含め、いろんな方からの支えをその言葉で表現していた。個人的には納得のいく将来都市像である。
会長	： 肯定的な意見が多数のため、将来都市像はこれで決定としたい。
分野内の主要施策の並びについて	
委員	： この並び順から、これからまちづくりに取り組む考えが伝わるため良いと思う。また、分野2と分野3の入替えについて、子育てが産業より前に来ることは、第五次総合計画から第六次総合計画へ、市の考える取組に変化が感じられ、素晴らしいことだと思う。
委員	： 自分の意見が反映されているため、この並びで良いと思う。
委員	： 他に意見がないため、主要施策の並び順については、これで決定としたい。
重点戦略について	
委員	： 前回の審議会でも3-5の高齢者福祉の充実も重点戦略1に加えた方が良いと伝えしたが、その対応として、子育て施策は引き続き重きを置くことから、3-2のみ、重点戦略1に加わった。高齢者福祉が重点を置く分野ではないこととした背景を伺いたい。
総合企画部長	： 主要施策はどれも重要であり、全ての施策に力を入れて取り組んでいく中で、重点戦略として挙げたのが、子育て関連と産業である。重点戦略の丸がついていないことで、市が高齢者福祉に関して手を抜くということではない。全ての主要施策にしっかりと取り組んでいくことをご理解いただきたい。
委員	： そのメッセージを市民にどうアピールするかということだと思う。重点戦略1は、「未来につなぐ安心と暮らしやすさの追求」であり、素案の「はじめに」で整理されている「柏崎市の課題」では、第一番目に少子高齢化の加速が指摘されている。これまでも取り組んできた子育て支援を、第六次総合計画においてもしっかりと戦略の重要分野として打ち出したことは素晴らしいと思うが、「安心と暮らしやすさ」という人間の生活全体を見た時に、子育てだけに着目するのはさすがに時代遅れな気がする。人口ピラミッドでも高齢者人口が厚くなることは明らかであり、人口ビジョンでも現在と同じレベルでの医療・介護サービスの提供が難しくなるとしている中で、あえて高齢者福祉に重点戦略の丸を付けないことは、柏崎市とはそういう市だという印象を与え、非常に残念である。

会 長 : 重点戦略の丸がないからといって手が弱まるということではなく、1-1から1-9まで並列でやっていくが、「未来につなぐ安心と暮らしやすさの追求」からすると、1-1と1-3をより強く取り組んでいくというメッセージであると受け止めた。分野2についても、2-1、2-2、2-4が重点戦略となっているが、それ以外の主要施策についても、バックアップして施策を進めていくということである。

福祉保健部長 : 前回、委員から高齢者福祉についてお褒めの言葉をいただいたが、今後、高齢者福祉事業の手を弱めるということは決してない。これまででもこれからも、本市の高齢者福祉が他市と比較して見劣りするものではないと思っている。高齢者福祉は国の施策も多いが、人材育成なども含めた全ての施策を、重点戦略のマークや施策の並び順に関係なく力を入れて取り組んでいきたい。また、新年度予算や施政方針で、市長から市民へのメッセージとして伝わるようにしたい。

委 員 : 子育てと高齢期の過ごし方は、一つの家族の在り方として切り離されるものではないと思う。子どもを育てやすいまちにするのはもちろん大事だが、一方で自分の親や自分が高齢者になった時に、安心して住むことができるよう、市として目配りしているというメッセージがあると、重点戦略1が非常に説得力を持つ。今あるサービスレベルを維持するだけでも大変だと思うが、これからの4年、8年の間に、重点として取り組んでいくという意気込みを見せていただけると良かったと感じている。

福祉保健部長 : 総合計画の策定中であるが、これから次期高齢者保健福祉計画や第10期介護保険事業計画の策定に入っていく。いただいた意見を十分に反映しながら、施策を進めていきたい。

会 長 : 重点戦略1における主要施策の関連付けは、提案の8項目で決定としたい。

土地利用構想について

委 員 : (仮称) 柏崎セントラルガーデンの説明がないため、旧市役所跡地と追記するなど、もう少し事業の説明を加えてもらいたい。

委 員 : 資料1の4ページにある土地利用イメージ図は大きくて見やすいが、資料3のデザイン案の土地利用イメージ図は小さく見づらいため、冊子に掲載する際は、土地利用イメージ図を大きく入れていただきたい。

事務局 : 資料3の冊子のスタイルは、あくまでもイメージであり、昔のイメージ図のまま掲載しているが、分かりやすいデザインやイラストの挿入など、現在業者と調整している。イメージ図は可能な限り大きく掲載し、見やすいものにしたい。

会 長 : 他に意見がないため、土地利用構想については提案のとおりとしたい。また、市議会から重点戦略2の「未来を拓く産業イノベーションへの更なる挑戦」の「拓く」にルビを振る提案があったが、素案の44ページに記載のとおり、ルビを振ることとしたい。

審議会での意見対応について

委 員 : 資料1の5ページにある対応シートの3行目について、前回の審議会での意見により「小・中学生」という表記から「児童生徒」へ修正していただいたことに感謝する。自分は修正の流れを分かっているため、この「児童生徒」が高校生まで含まれていることを理解できるが、これを市民が見た時、児童生徒がどこまで含まれるのか疑問に思うのではないかと。分野4において「小・中学生などの児童生徒」という表記が頻繁にあり、ここを見ると児童生徒が小・中学生だと認識されてしまう。変更は難しいかもしれないが、例えば「児童・生徒・学生も含めた…」と記載すると、高校生以上も含まれていることが伝わるのではないかと。

市民生活部長：	一般的に「生徒」というと高校生も含まれるが、事業によって、小・中学生をターゲットとするものや高校生以上も含まれるものがある。ここで「学生」という文言を入れると混乱する可能性があるため、このような表記に留めている。
委員：	防災教育という事業として考えるとそうだが、高校生以上の若者が有事の時に活躍できる体制を整えるため、平時から地域でこういう活動ができることを伝えておくと初動が早いと思う。高校生以上の若者世代に意識を持ってもらえる事業があると良い。
会長：	工科大でも、学生が市の防災・原子力課から防災教育を受け、その教育を受けた学生が小学校で防災教育を行うなど、連携して取り組んでいる。「学生」を追記するご提案について検討できないか。
事務局：	地域防災力の分野の中での表記をどうするかについては、担当部と相談し、分かりやすい表記を検討する。
会長：	「児童生徒」や「高校生や大学生」など、対象者の記載の仕方が統一されていないと、少し分かりにくいかもしれない。
市民生活部長：	学生というと、一般的には大学生、生徒は中学生・高校生を指す。
委員：	一般的な対象は理解できるが、市民が見たときに、児童生徒が高校生も含まれるのかどうか分かりづらい。児童生徒が、高校生も含まれるのであれば、どこかに説明があると分かりやすくなるのかもしれない。
会長：	市民が見て誤解のないような記載を検討してもらいたい。
委員：	前回の質問について、軽自動車税はあくまで見込みのため、このような内容で良いと思う。
会長：	一部、記載について再度検討していただく箇所もあったが、前回の審議会の意見対応については記載のとおりとする。

【審議事項 柏崎市第六次総合計画の素案について

資料2】

(資料2により、事務局が主な修正箇所を説明)

委員：	<p>関連する個別計画と一体的に策定されている計画や包含されている計画をどのように整理するか。例えば、79ページに記載されている柏崎市地域包括ケア計画は、高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画と一体的に策定している。また、国の施策と相まって認知症施策推進計画が包含されている。これらの個別の計画をどう表すか検討していただきたい。成年後見制度利用促進計画も地域福祉計画に包含されてしまっているため、市民にとっては個別計画に触れにくいと思う。2-3の心と体の健康づくりの推進においても、自殺対策行動計画が記載されていないため、記載すべきかどうか、併せて検討していただきたい。</p> <p>また、こども・若者計画は現在策定中だと思うが、柏崎市はおおむね39歳までを対象にしている。若者支援を対象とした85ページや105ページなどへの子ども・若者計画の記載の必要性についても検討した方が良い。</p>
事務局：	担当課に記載を依頼したため、各課によって掲載基準に違いがあるかもしれない。個別計画の記載について整合性をとりたい。
委員：	各施策の「めざす姿」は、第六次総合計画で目指す姿が書かれていると思うが、8年後はすぐ近くの将来であるため、もう少し丁寧に書くと良いのではないか。例えば、1-1の「めざす姿」には、「都市機能が集積した利便性が高いまちなかや、憩いの場となる公園などが充実し、にぎわいのあるまちが形成され、市民が快適に暮らしています。」とあり、これは完璧な姿である。この先、4年から8年で実

現するのは難しいと思う。実現に向けた途中段階にあるのが8年後だとすると、「にぎわいのあるまちの形成に向けた取組が進んでいます」くらいで記載した方が良いのではないか。

事務局： 「めざす姿」は、必ずしも8年後の姿を目指したものではない。この施策を進めていく中で、あるべき姿がこうであり、それに向かって施策を進めていくことが行政のプロセスとして大事なことだと考える。8年後に実現できるものもあるかもしれないが、8年経っても追いつかないようなものもあるかもしれない。世の中が激しく変化する中においても、あるべき姿をしっかりとイメージしながら施策を進めていくことが、計画を定める中では重要だろうという考えの下で記載をしている。

会長： 50ページに主要施策の見方の説明があるが、この将来の姿とは、この総合計画の8年間ではなく、もっと先の将来も含まれているのかもしれない。

委員： 真の将来像は基本構想に記載し、前期基本計画では、この4年間でどれだけのことができるかなど、近い将来のことを記載すると市民としては分かりやすいし、行政の在り方に共感できるのではないか。28ページの将来都市像では、第六次総合計画で実現を目指す将来の柏崎の姿として、この8年間で何を目指していくのかははっきりと書いてあるため、整合の取れた前期基本計画の「めざす姿」の説明にした方が良いと思う。

事務局： 素案の30ページから主要施策と「めざす姿」を掲載し、それを受けて各施策のページに再度掲載することで、その姿を目指しながら今後の政策を進めていくこととしている。いただいたご意見は重要な指摘であると受け止めた。素案の50、51ページに主要施策の見方を記載しているが、この「めざす姿」について、今の説明のような分かりやすい表記ができるよう検討したい。

会長： 「将来都市像」と「めざす姿」で使い分けをするのであれば、28ページや30ページに説明があった方が良い。

委員： 目標指標の数値の表記について、96ページの観光入込数は、現状値が2,181,140人で目標値が2,696,000人と記載しているが、そこまで詳細に書く必要があるか。現状値の捉え方によって変更できない理由があるのかもしれないが、目標値を2,690,000人と数値を丸めて記載した方が見やすいのではないか。

産業振興部長： 現状値は、細かいところまで記載し、目標値は、丸めた数値にしている。金額の単位を千円や万円で表すことは、市役所ではなじみがあるが、一般的には分かりにくい場合もあるため、数値の丸め方を含め、表記方法を検討する。

委員： 資料2の素案と資料3のデザイン案について、素案がそのままカラー化されるという理解で良いか。資料2の3ページと資料3の5ページを比較すると、資料2は本市の現状が記載されているが、資料3はその記載がないため理由を伺いたい。また、グラフについても最新のデータを記載した方が良いのではないか。

事務局： 後ほど資料3で説明する予定であったが、資料3はイメージの案であり、現在業者と調整中のためサンプルであるのご理解いただきたい。デザインのイメージをお見せするもので、内容が素案と一致した最新の状態ではないが、素案が固まり次第、業者と調整を進めていきたい。

時点修正については、素案の3ページでいうと、新潟県の状況を令和6年10月1日現在の最新の内容に変更している。策定までに令和7年10月1日現在の情報に修正が間に合えば適宜修正したい。あわせて、市で把握している数値など、最新のものにした方が良い数値については、可能な限り時点修正していきたい。

委員	： 素案の3ページに掲載されている図に関しても、素案はグラフ内の数値が四角で囲んであり見やすい。資料3のデザイン案についても、見やすさの工夫をしてもらいたい。
委員	： 77ページの医療従事者の確保は「小中学生」と記載されているが、95ページ、林業・水産業の担い手確保は「小・中学生」と記載しているため、標記を統一した方が良い。また、92ページの認定農業者の用語説明に「ゲタ・ナラシ」という表記があるが、一般的になじみがないため説明が必要ではないか。
産業振興部長	： ご指摘のとおり、「ゲタ・ナラシ」は農業業界の用語であるため、事務局には再修正するように伝えている。市民など誰が見ても分かりやすい記載となるよう、改めて修正したい。
委員	： 116ページの目標指標に再掲の指標があるが、これまでに見たどの目標指標と一緒になのか分かりづらいため、116ページには「3-1と同じ指標」、84ページには「5-4と同じ指標」などと、それぞれのページに入れると良いのではないか。
事務局	： ご提案のとおり、再掲の目標指標の表記について工夫したい。
委員	： 「めざす姿」は、すぐ目先の4年後のことだと容易に達成するものしか書けなくなってしまうため、このような表記で良いと思う。また、目標指標に関しては、例えば116ページの市内2大学卒業生の地元就職率や、94ページのアラの平均単価の目標値が細かい。進行管理で評価しなければいけないことを考えて目標値を立てたのかもしれないが、もっと数字を簡略化し、ここを目標にするという決意を込めたキリの良い数字の方が分かりやすいのではないかと感じた。
事務局	： 市内2大学卒業生の地元就職率については、令和6年度で7.6%と数値が低い状態が続いている。大学等とも連携しながら向上に取り組む中で、何とか10%を超える数値を目指していきたいということから、目標値を設定している。目標値の設定に当たっては、担当課にしっかりと数値の根拠を持つように伝えている。
委員	： 目標指標について、進捗管理はどのような周期で行っているのか。
事務局	： 進行管理は、毎年総合計画審議会で行っている。今年度は第六次総合計画の策定作業と重なっているため、例年より時期を少し遅らせているが、第六次総合計画の策定が一区切りした頃、令和6年度分の進行管理として第五次総合計画後期基本計画の進行管理を行いたいと考えている。同様に、第六次総合計画においても、第六次総合計画がスタートした翌年から進行管理を行う予定である。
委員	： 中間報告は行わないか。
事務局	： 目標指標の数値は1年に1回出るものが多いため、1年間の中で中間報告は実施しない。4年後、現在策定している第六次総合計画前期基本計画が終わりに近づいた頃、後期基本計画を策定するためにしっかりと総括を行いながら次期計画の策定を進めていきたい。
委員	： 110ページの拉致問題啓発・人権講演会の参加校数で、現状値が24校、目標値が60校となっている。市内の小・中学校はこれから減っていくが、目標値が増えているのが気になった。予算の出どころにもよるが、小・中学校だけでなくその上の高校などでも講演会を依頼することができるのか。
総合企画部長	： これまでは、小学校を中心に講演会を行ってきたが、今年度から中学校でも何校かピックアップして実施していくこととした。高校での講演会の実施については、今後の可能性について研究させていただきたい。講演会を始め、海の大花火大会での署名活動などは、拉致問題を知っていただく良い機会であるため、高い目標値を設定した。活動回数を増やし、今後も継続して取り組んでいきたい。

委員	： 市内の高校でも人権についての講演会をしているが、予算がないため、PTA会費から支出している学校もある。新潟県との調整もあるかと思うが、せっかく柏崎市内に高校があるのであれば、高校でもこうした講演会ができると良い。
事務局	： この指標の目標値60校は、累計の数値だと思われる。しっかりと確認した上で、累計であることが分かるように記載したい。
委員	： 46ページの「数値目標及び関連する具体的施策・重要業績評価指標（KPI）」について、目標値は記載されているが現状値や基準値の記載がない。目標値の妥当性を見るためにも、現状値や参考となる基準値を記載してはどうか。
事務局	： 46、47ページは、表の左端に主要施策の番号と主要施策名を記載しており、52ページからの主要施策シートと一致しているが、目標値のみの記載となっている。分かりやすさの観点から、現状値を追加で記載するよう検討したい。
会長	： 46、47ページでKPIに設定されている目標指標は、各主要施策シートの目標指標の表の一番上に掲載しても良いかもしれない。KPIに設定された重要な指標だということが分かるよう記載すると良い。
委員	： それぞれ目標値が定められているが、人口が減っていく中で全てを右肩上がりの目標値にする必要はないのではないかと。高い数値を目標とするのは良い事であるが、例えば、目標値を現状維持にするなど実情を考慮した数値でも良いと思う。
会長	： 現状値より目標値が下がる指標は、それが分かりやすく表されていると良い。
委員	： 116ページの移住定住に関する相談件数の目標値は80件となっているが、46ページでは100件で数字が違うため、正しい数値に修正していただきたい。
事務局	： 目標値を再度確認し、正しい内容に修正したい。
会長	： 88ページや98ページの目標指標は1項目しかなく、その指標の数値が悪化すると重点戦略のKPIにも関わり、全体の評価が悪くなってしまうため、複数の指標が設定できると良い。
委員	： 生成AIの発達が著しい中、素案の6ページにデジタル技術について触れられているが、その後のページは生成AIを始めとしたデジタル技術のことがあまり触れられていない。今後、市としてはどのように取り組んでいく予定か。
総合企画部長	： 生成AIは、柏崎市でも指針を設けた上で業務に使っており、本計画の策定で活用した部分もある。生成AIやDXなどは、総合計画を進めていく手段の一つとして考えており、それらを有効に活用しながら未来に向かって進んでいきたい。
会長	： 今の説明について、具体的に記載されているところはあるか。
事務局	： 素案の6ページに本市の現状を記載しているが、市の最上位計画である総合計画の中で、生成AIなどの具体的な内容を記載すべきかどうかという議論もあるため、詳細な内容については、DX計画などの個別計画で記載することとしたい。
委員	： 目標指標で、単年度の数値なのか累計の数値なのか分かりにくいものがあるため、「累計」と追記するなど、表記を工夫すると良い。また、66ページの鳥獣による農業被害額やごみ・資源の総排出の指標は、現状値に対して目標値が下がる方が良いとする指標であるため、それが分かるような記載にすると良い。「以上」や「以下」を付け加えるだけでも、数値が理解しやすくなると思う。
事務局	： 累計の目標指標については、（累計）と記載しているものもあるため、再度指標全体を見直したい。 また、目標値が、現状値より少ない方が良いという目標指標については、どのような記載ができるか検討したい。

(資料3により、事務局が現時点の計画冊子のデザイン案を報告)

- 委員： 計画策定で、時間をかけて議論してきたキーワードの1つに、アルファベットの「energy」にカタカナで「エナジー」とルビを振ったものがあるが、これはワンワードだと理解している。計画の中でどれだけこのワードが出てくるかわからないが、冊子として印刷する際に、この表記のルールは徹底してもらいたい。
- 委員： 目標指標の累計や下がった方がよい指標など、それらを表すアイコンなどを付けると分かりやすくなると思うので、デザイン業者と今後検討してもらいたい。

【その他 全体を通しての御意見

】

- 会長： 他に全体を通しての意見がなければ議事はここまでとしたい。本日出された意見は、事務局と相談しながら委員の皆様の意見を最大限に反映させていきたいと思うが、修正内容は会長に一任で良いか。
- 全員： 異議なし。

(4) 今後のスケジュール (予定)

- ・ パブリックコメント：9月16日(火)～10月15日(水)まで
- ・ 第7回総合計画審議会 (予定)：11月初旬頃 (書面審議の場合あり)
- ・ 答申 (会長・副会長のみ)：11月中旬頃
- ・ 市議会全員協議会：11月下旬頃
- ・ 議案提出：12月
- ・ 進行管理：令和8年1～2月頃

(5) 副会長挨拶

総合計画策定において、今日に至るまで審議会としてたくさんの意見を示した。反映されなかった意見もあるが、その意見がなかった事になるのではなく、総合計画が最上位計画であるために詳細は記載しないということであって、意見を出したプロセスが大変重要である。総合計画が「生きたもの」になるよう、行政に取り組んでもらいたい。

そして、市民を始め、柏崎市で多くの時間を過ごす人が、行政をチェックするとともに市民力・地域力が発揮できるよう、行政がメッセージとして発信することにも注力していただきたいと思う。

(6) 閉会

以上